令和2年度 第1回 館山市図書館協議会次第

日時：令和2年6月25日（木）

午前10時

場所：館山市図書館 集会室

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 辞令交付
- 4 委員、職員紹介
- 5 議事
 - (1) 図書館の概要について
 - (2) 令和元年度事業報告について
 - (3) 令和2年度事業計画について
 - (4) 指定管理者制度の導入について
 - (5) その他
- 6 閉会

(1) 館山市図書館の概要について

令和2年4月1日現在

1 施設

(1) 本館

所在地	館山市北条1740番地		
開館日	昭和47年2月1日		
構造	鉄筋一部2階建	敷地面積	1,759㎡
建物面積	延床面積 822.4㎡ 1階閲覧室 152.88㎡ カウンタ-室 9.18㎡ 2階閲覧室 98.28㎡ ロビ- 64.24㎡ 書架室 73.71㎡ 事務室 37.17㎡ 児童室 41.90㎡ 書庫 147.54㎡ 集会室 59.28㎡ その他 138.26㎡		

(2) 移動図書館(わかしお号)

購入年月日	平成15年8月	購入価格	9,079,738円
形式	ニッサンシビリアン(26人乗りマイクロバス)改造		
車両寸法	長さ 630cm	幅 219cm	高さ 271cm
積載冊数	2,200冊		
燃料及び排気量	軽油	4,160cc	

2 開館時間 9時～17時(木曜日のみ9時～19時)

3 休館日 月曜日
館内整理日(毎月第4金曜日)
12月29日から翌年の1月3日までの日
特別整理期間(10日以内)

4 職員 正規職員6人(うち司書1人)
会計年度任用職員4人(うち司書有資格者1人)

5 予算 令和2年度当初予算及び令和元年度当初予算対比(歳出)

(単位:千円)

区分	2年度当初予算	元年度当初予算	対比
資料購入費(新聞雑誌代を含む)	4,093	6,562	37.6%
図書館システム維持費	492	529	7.0%
その他(人件費を除く)	16,670	18,067	7.7%
計	21,255	25,158	15.5%

6 所蔵資料総点数 159,083点(令和2年3月末現在)

・一般書	108,179点	・紙芝居	579点
・児童書	38,539点	・録音図書	431点
・郷土行政	7,572点	・映像資料	332点
・外国語本	217点	・雑誌	3,209点
・点字本	25点		

(2) 令和元年度 館山市図書館事業報告について

令和 2 年 3 月末現在

事務事業	概要
1 図書館資料の整備充実	<p>市民の知る権利を保障するため、また多様な読書要求や学習要求に幅広く応えられるよう一般図書・児童図書・郷土資料・視聴覚資料等を継続的に収集し、資料の整備充実を図った。</p> <p>図書・視聴覚資料購入点数 2,995点</p>
2 施設・環境整備	<p>快適な読書環境等・利用環境になるよう整備を図った。</p> <p>新着本コーナー、特設コーナーの活用</p> <p>開館時間延長の実施（毎週木曜日午後 7 時まで開館）</p> <p>館山市図書館ブロック塀改修工事</p> <p>館山市図書館防水改修工事 （閲覧室・集会室・ロビー・書庫通路・書庫各屋上）</p> <p>令和元年房総半島台風（第 15 号）及び東日本台風（第 19 号）の被災及び新型コロナウイルス感染症対策における対応について</p> <p>9 月は台風 15 号の被災対応により 10 日（火）～ 25 日（水）までは図書館としては休館し、休憩所として月曜日も含めて開放した。（1 階のみ開放、館内閲覧・返却対応のみ）また、26 日（木）の夜間開館は中止した。ただし、館内整理日（第 4 金曜日）に当たる 27 日は開館した。</p> <p>10 月は台風 19 号により、11 日（金）は午後 3 時で閉館、12 日（土）・13 日（日）は終日休館とした。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症対策のため 2 月 29 日（土）以降は、臨時休館とした。</p>
3 基本的な図書館サービス ア．移動図書館 イ．乳幼児サービス	<p>市民の知る権利を保障するため、また生涯学習の支援を行うために、継続性が重要であるサービスを提供した。</p> <p>市内全域にサービスを提供するため、図書館から遠方の人を対象に、移動図書館車「わかしお号」による館外サービスを実施した。</p> <p>運行日数 87日 貸出点数 10,169点 積載冊数 約2,000冊 駐車場所 33箇所</p> <p>0 歳から成長の段階に合わせたサービスを提供した。</p> <p>わらべうたの会（協力：サークルわらべうた）</p> <p>0～2 歳児とその保護者を対象に行った。</p> <p>わらべうたは赤ちゃんにとっては初めての文学であり、絵本を楽しむ前段階であることを重視した。わらべうたを通して親子の楽しいふれあいのひと時を図書館で過ごしてもらい、また家庭での実践を勧めることを目的とした。</p> <p>実施回数 9回 参加者延べ 92人</p>

<p>オ．一般向けサービス</p>	<p>図書館の本を活用したサービスを実施することにより、利用者の読書の幅を広げることを図った。</p> <p>「ティータイム朗読会」（月1回程度） 午後3時より15分程度、図書館の本を活用した朗読会を実施。 実施回数 9回 8月は午後6時から「サンセット朗読会」を開催 参加者 延べ80人</p> <p>「図書館ハッピーバッグ（本の福袋）貸出」 春（130袋）：4月27日～ 秋（46袋：幼児・児童向けのみ）：11月6日～ 秋のハッピーバッグは、中学生の職場体験に合わせて実施</p>
<p>4 文化活動推進事業 ア．図書館講座</p> <p>イ．読書貯金通帳</p>	<p>市民の生涯学習を支援し推進するため、文化的事業を実施し、併せて図書館活動の普及と推進を図った。</p> <p>10月31日「大人のためのおはなし会」 参加者 20人 11月6日「大人限定 わらべうたの会」 参加者 28人 11月9日「ウィキペディアタウンプレイイベント」参加者 26名 2月22日「ウィキペディアタウンin館山」 参加者 12名 秋に予定していた「市制80周年記念事業 図書館講演会」は台風の復興支援対応に伴い中止。</p> <p>関連行事 「生涯学習出前講座（図書館のおはなし）」 開催日 5月9日 会場 館山市図書館集会室 参加者 6人</p> <p>市内各小学校に読書貯金通帳を配布し、児童に読書習慣のきっかけづくりを行った。 配布数：市内各小学校7校 607枚 その他、随時館内にて配布</p>
<p>5 蔵書点検</p>	<p>全所蔵資料の点検と資料のデータの確認・修正、書架の整理整頓、不用図書廃棄を行い、資料保存の効率化を図った。</p> <p>特別整理期間 6月26日～7月4日 確認件数 147,994点 不明本件数 63点</p>
<p>6 図書館情報の提供</p>	<p>利用者が利用しやすいよう利用案内・行事等のお知らせ・蔵書検索など図書館に関する情報の提供を行った。</p> <p>広報「だん暖たてやま」の毎月1日号に「図書館だより」連載及び毎月15日号に移動図書館巡回予定掲載 ホームページで蔵書検索や利用に関する情報の提供 ホームページによるインターネット予約冊数 3,224冊 おはなし会のお知らせパンフレットの配布（全幼稚園児）</p>

<p>7 除籍資料の有効活用</p>	<p>除籍資料の再利用を図る。</p> <p>除籍点数 3,100点(雑誌含)</p> <p>図書館ロビーにリサイクルコーナーを設置し、除籍した資料のうち再利用できるものを市民に譲与し、資源の有効活用を図った。</p> <p>(毎月15日に配布)</p> <p>併せて市民の不要本の受け入れと無償配布も行った。</p> <p>持ち込み冊数 8,885冊 持ち帰り冊数 9,212冊</p>
<p>8 学校等への支援・協力</p>	<p>児童・生徒の調べ学習用資料の収集・蔵書構成に努めた。</p> <p>市内小学校に移動図書館車で定期的に団体貸出を行った。</p> <p>台風の復興支援対応に伴い11月以降は中止。</p> <p>各学校の要望や教員の相談に応じ、学習に合わせた内容の図書を選書し、随時団体貸出を行った。</p> <p>貸出件数 18件 貸出冊数 516冊</p> <p>(+ 団体貸出 延べ120団体 貸出冊数6,952冊)</p> <p>図書館員が学校等に出向き、読み聞かせやブックトーク・講義・出張授業等を行った。</p> <p>読み聞かせ等</p> <p>6月13日 豊房幼稚園 おはなし会 園児8人 他 2人</p> <p>7月11日 船形小4・6年生 ブックトーク 児童52人 他2人</p> <p>9月4日 九重小 おはなし会・ブックトーク 児童64人 6人</p> <p>11月14日 豊房幼稚園 おはなし会 園児12人 他 5人</p> <p>12月11日 豊房小 おはなし会・ブックトーク 児童70人 他 7人</p> <p>1月21日 館野小1・3年生おはなし会・ブックトーク</p> <p>児童41人 他 3人</p> <p>1月22日 房南こども園 おはなし会 園児74人 他17人</p> <p>1月29日 館野小2・4年生おはなし会・ブックトーク</p> <p>児童37人 他 2人</p> <p>2月18日 船形小1年生 おはなし会 児童17人 他 4人</p> <p>出張授業等</p> <p>11月27日 安房高3年生(選択家庭科)</p> <p>「絵本のはなし」 参加者17人</p> <p>各学校の要望や教員の相談に応じ、図書館の施設見学を行い、図書館について理解を深めた。</p> <p>2月14日 安房特別支援学校中学部1年 児童16人 他 4人</p> <p>図書館員が学校等に出向き、学校図書室利用促進等の運営相談を行った。</p> <p>5月8日 館山小学校 運営相談</p> <p>8月20日 館山小学校 運営相談</p> <p>3月17日 館山小学校 運営相談</p>

<p>9 図書館ボランティアの育成・支援</p>	<p>読書活動に関するボランティアグループへの支援 児童書や読み聞かせなどに関する相談・勉強会の実施 ・館山子どもの文化研究会 勉強会 2月20日「図書館の選書」 図書館資料・図書館の備品の貸出や材料の提供 図書の修理に関するボランティアグループへの支援 活動場所・材料の提供や備品の貸出</p>
<p>10 公共図書館・各種専門機関との連携</p>	<p>千葉県立図書館を中心としたネットワークにおいて、資料相互貸借により資料を取り寄せ、利用者からの様々な要望に応じた。 借用冊数 889冊 貸出冊数 738冊 レファレンス・コピー依頼件数 0件 利用者の希望する資料・図書が県内図書館で所蔵が無い場合、国立国会図書館・県外公共図書館・大学図書館・各種専門機関へ問い合わせ、資料の借用・コピーの取り寄せ・情報の提供を行った。 借用冊数 1冊 貸出冊数 2冊 レファレンス・コピー依頼件数 11件</p>
<p>11 職場体験・研修</p>	<p>職場体験学習受入 8月 6・7・9日 三芳中2年 1人 11月 5～7日 館山一中2年 2人 館山三中2年 2人 11月 13日 北条小5年 3人 11月 26～28日 富浦中2年 1人 職員研修 4月 平成31年度市町村立図書館等相互協力担当者会議 5月 平成31年度公共図書館等新任職員研修会 5月 国際子ども図書館特別研修 5月 令和元年度千葉県公共図書館協会理事会・総会 6～7月 平成31年度児童サービス基礎研修会（3回） 7月 令和元年度第1回千葉県公共図書館協会経営研究委員会 7月 令和元年度先進図書館運営研修 9月 令和元年度スキルアップ研修会合同研修会（2名） 11月 令和元年度第2回千葉県公共図書館協会経営研究委員会 2月 令和元年度第3回千葉県公共図書館協会経営研究委員会 3月 令和元年度千葉県公共図書館協会理事会 館内研修 8月 図書館での接遇 1月 カウンター接客、書架整理 中堅教諭等資質向上研修受入 安房拓心高校教諭 12月（1人 2日）</p>

1 2 その他	<p>図書館資料の特設展示（抜粋）</p> <p>7～8月「終活」</p> <p>高齢者福祉課で作成したエンディングノートの配布とあわせて実施。</p> <p>9月「図書館資料で読む館山のあゆみ 市制80周年記念」 介護施設等へのおはなし会</p> <p>7月17日 小林病院通所リハビリテーション 参加者21人</p>
---------	--

(3) 令和2年度 館山市図書館事業計画について

		事業名	期間・期日	概要	備考
児童サービス		おはなし会 (児童向け)	月2回(土曜) 14:00～(30分程度) 8月を除く	絵本の読み聞かせや語りを楽しむことで、子どもと本を結びつけ、本に親しむきっかけを作る。	協力: 館山子どもの文化研究会、 ばねばいん(松苗禮子氏) 対象: 5歳～小学生程度の児童
		ブックリストの 作成・配布	通年	本を選ぶ際の目安になるよう、子どもの成長段階に合った、図書館としておすすめの本をリストにし、配布を行う。	現行配布しているものに関しては、徐々に改訂を行う
		特別おはなし会 英語でたのしみおはなし会	時期未定	海外の絵本や日本の絵本で外国語に翻訳されているものなどを、英語と日本語の両方で読み聞かせを行い、多文化に親しむきっかけを作る。	協力: 館山子どもの文化研究会
		季節のおはなし会	8月中～下旬(夏)、 12月中旬(冬)	通常行っているおはなし会の特別版として、時間を拡大しおはなし会を行う。(1時間程度)	協力: 館山子どもの文化研究会
		子ども講座 なつやすみ宿題大作戦	7月及び8月 博物館・図書館で 各1回ずつ開催	図書館の本を使って調べるためのポイントを説明し、調べ学習に役立てるようにする。	対象: 小学生 共催: 博物館
		子ども講座 チャレンジ! こども図書館員(仮)	7月～8月 または10月～11月	本の貸出・返却や書架から本を探すなど、業務の一部を体験することで、図書館に対する興味・理解をさらに広げる。	対象: 小学4～6年生
乳幼児サービス		わらべうたの会	第3金曜 10:30～(1時間程度) 8月を除く	絵本を楽しむ前段階として、日本語の持つ豊かな響きやリズムに親しみ、言葉と体のふれあいを通して親子で楽しむ時間を持つ。	協力: サークルわらべうた 対象: 0～2歳程度の幼児と保護者
		おはなし会 (幼児向け)	第1金曜 10:30～(30分程度) 8月を除く	絵本の読み聞かせや語りを楽しむことで、子どもと本を結びつけ、本に親しむきっかけを作る。	協力: 館山子どもの文化研究会 対象: 2～4歳程度の幼児と保護者
		赤ちゃん絵本と絵本で ふれあい	毎月4か月健診時	赤ちゃん絵本の読み方や選び方について、また絵本を通して赤ちゃんとのコミュニケーションを図ることの意義を、絵本の読み聞かせも交えて話す。	場所: コミュニティセンター 協力: 館山子どもの文化研究会、 健康課
		キッズタイム	毎週金曜午前	乳幼児連れの方でも気兼ねなく利用してもらえるよう、マナーの範囲で、図書館でにぎやかに過ごしても良い時間帯を設け、利用の促進につなげる。	
学校支援		団体貸出の実施	通年	市内の学校等に対し、読書用資料や学習に必要なテーマに沿った資料の貸出を行う。	
		運営相談の実施	通年	市内小中学校の学校図書館を訪問し、運営上の相談等に応じる。	要望に応じて実施
		見学の受け入れ	随時	要望に応じ、図書館見学の受入を行う。	
		図書館員の出張	随時	要望に応じ、図書館員が学校に出張して、おはなし会やブックトーク、読書指導等を行う。	

	事業名	期間・期日	概要	備考
サー 一般 ビ ス ケ	図書館講演会	10月または 1月～2月頃	読書、図書館に対する視野を広げられる よう、講演会を実施する。	
	図書館講座	9月～10月	本や図書館に親しみ、理解を深めるきつ かけとなるよう講座を開催する。	
	大人のための おはなし会	10月	ストーリーテリングを中心としたおはなし 会を成人向けに実施し、「聴く」ことから 読書の楽しみを広げられるようにする。	協力：館山子どもの文化研究会
	大人限定 わらべうたの会	11月頃	昔ながらに伝承されているわらべうた を、体を動かしたり歌ったりしながら楽し む会を、成人対象に実施する。	協力：サークルわらべうた
	図書館 ハッピーバッグ	年1回(予定)	様々な本に出会えるよう、図書館員が選 んだ本を袋に詰め、福袋形式で貸出す る。	一般・児童それぞれ実施 開催時期については要検討
	移動図書館車の 運行	年間89日予定 (ステーションの巡回 頻度は月2回程度)	図書館遠隔地の利用者や、自力での図 書館利用が難しい遠隔地の学校・こども 園等に対し、移動図書館を巡回するこ とで読書や図書館に親しむ機会を設ける。	市内33カ所(6コース)を巡回
	高齢者への 読書支援	通年	高齢者にもいつまでも読書や図書館の 楽しみを味わってもらえるよう、サービ スの展開を行う。また、高齢者施設での本 を活用した取り組みへの支援を行う。	サービス内容は随時検討
資 料 の 収 集 ・ 整 理 ・ 活 用	資料の購入・ 寄贈受入	通年	館山市資料収集方針及び資料収集計画 に沿って、資料の購入を行う。また、郷 土・行政資料を中心に寄贈を受け入れ、 地域文化の継承に努める。	
	資料の展示	通年	テーマを決め、様々なジャンルから資料 を集め、一定期間資料の展示を行う。ま た、季節や時事・話題に合わせての展示 を行う。	
	レファレンス サービス	通年	利用者の「知りたい・調べたい」に応える ため、図書館資料や各種情報源を用い て、調査研究の援助を行う。	
	相互貸借による 資料の提供	通年	自館で所蔵がなく、購入ができない資料 について、県立図書館や県内自治体の 図書館等、国立国会図書館や県外図書 館の資料を借用し、利用者に提供する。	
	資料の補修・修理	通年	利用が多く破損の見られる資料や、長期 にわたっての保存が必要な資料につい て、修理や補修・補強を行う。	協力：ルリユールの会
整 理 ・ 活 用	資料の除籍	通年	利用頻度の少ない資料や傷みの激しい 資料について、除籍処理を行う。	
	特別整理期間 (蔵書点検)	4月15日(水) ～4月23日(木)	閉館して蔵書点検を行い、不明資料の 把握、書架整理と館内外の整備を行う。	書架室2階エアコン改修実施予定

	事業名	期間・期日	概要	備考
運営・管理	図書館協議会	6月、9月、12月、2月 (状況によって変動あり)	館山市図書館協議会委員と、前年度報告・本年度計画・課題・問題点等についての会議を開催する。	
	開館時間延長	毎週木曜日	週1回、午後7時まで開館し、利用者の便宜を図る。	当番職員はフレックス勤務
その他	ボランティアとの連携	通年	おはなし会、わらべうたの会、本の修理等で協力を頂いているボランティアに対し、意見交換や情報提供を行う。また、要望に応じ、勉強会や研修会を行う。	
	職場体験・実習の受入	11月頃(市内中学生) その他随時	図書館の業務を体験し、仕事や働くことについて考える機会を与える。	希望に応じ受け入れ (小・中・高・大学、教職員等)
	リサイクル本コーナー	常設	毎月15日に図書館の除籍資料を無償配布する。また、家庭で不要になった本を随時持ち込みの上無償配布する。	場所: 図書館ロビー 協力金箱の設置(H30.8~)
	職員の研修	随時	職員のスキルアップのため、必要に応じて、千葉県立図書館や千葉県公共図書館協会等主催の研修に参加する。また、館外研修の還元や職員間での知識の共有を図るため、館内研修を実施する。	
	図書館パワーアップ事業	令和2年10月	来館しなくても電子書籍が読める、電子図書館サービスを新たに導入し、読書環境の充実に向けた取組を実施する。	

(4) 図書館協議会大西議長からの意見に対する回答

※ に囲まれた部分が大西議長からの意見となります。

今後の館山市図書館の健全な発展を図る観点から、公立図書館の目的・役割・機能の基本を踏まえ、指定管理者制度には「なじまない」と考えます。

「なじまない」と考える理由を下記に列記します。このことについて館山市は公立図書館設置者としてどのように対処するのか、ご返答をお願いします。

- 1 日本図書館協会の「図書館に関する宣言」に「図書館は、基本的人権のひとつとして知る自由をもつ国民に、資料と施設を提供することを、もっとも重要な任務とする」として公的使命をあげており、公立図書館は自治体が運営し、住民が持っている基本的な権利や様々な欲求に応えるために自治体の責任において直接管理運営し、住民の権利である資料要求を保障することが求められていること。
- 2 公立図書館は、「図書館法」という法律に則り設置・運営されている社会教育のための施設として位置づけられていること。

〔回答〕（1・2）

ご指摘いただいた「資料要求の保障」や「図書館法の遵守」は、募集要項・業務仕様書で明示すべき事項と考えています。

また、館山市図書館協議会のご意見も取り入れながら、数値指標として示せるものは、要求水準として定めることも可能と考えています。

- 3 公立図書館は老若男女あらゆる人が利用することのできる地域の教育と文化の発展になくってはならない存在で、継続的で安定したサービスが求められていること。

〔回答〕

継続的で安定したサービスを提供できるよう、図書館運営の豊富なノウハウや経験値に即した人材登用制度を有する事業者を選定したいと考えています。

また、実績に応じて、指定管理期間を延長できるなど、指定管理者による中長期に渡る事業計画、人材育成を強く後押しする仕組みも取り入れたいと考えています。

- 4 公立図書館は、住民の生活・職業・生存と精神的自由に深くかかわる機関であり、地域に根ざした知の拠点として継続的に資料・情報を収集・保存し、提供すると同時に、地域コミュニティの拠点としてあらゆる地域活動と連携し地域文化の創造拠点としての役割を担っていること。

〔回答〕

1・2への回答と重なりますが、現在のサービス内容・水準を明示し、十分な準備期間（指定議決後、半年程度）を設定したいと考えています。

そのうえで、定期的な報告を求めるとともに、随時に現地確認や協議を行うなど、その運営に関与し、改善の必要がある場合には指導を行います。

5 館山市の考える指定期間の設定が5年と短く、次回も同じ業者が指定されるとは限らず、指定管理者の職員の雇用期間も年毎に更新するケースが多く、また短期間雇用のため正規職員を増やし教育するのは困難であると思われ、安定した身分の確立が保障されず、サービスの維持・向上を果たす上での職員の質による悪影響が懸念されること。

〔回答〕

3への回答のとおりです。

なお、公募時の人件費は、本年度から導入された会計年度任用職員制度をベースとし、雇用条件が低下することを防ぎます。

6 図書館法に記されている「図書館利用無料の原則」から指定管理者側の事業収入が見込めないため、サービスの拡大発展を期待できないと思われること。

〔回答〕

委員の皆さまと視察した茂原市では、自動販売機設置と飲食スペースの提供や託児サービスなど、新たなサービスが取り入れられていたところでした。

菜の花ホールや中央公園と一体的な管理運営体制とすることで効率化を図り、併せて面的なスケールメリットを生かした提案を期待します。

7 図書館の政策や計画の立案、サービス評価には、専門的知識・経験を持つ自治体職員と所蔵資料把握、地域事情へ精通などの専門知識と経験の蓄積を持った司書の継続的な配置が必要で、政策決定と運営主体との分離は、図書館運営の維持発展を阻害するものであると思われること。

〔回答〕

図書館運営に関する知識を従業員に伝え・育む仕組み（教育の場とスキルアップ制度）を有する事業者を選定することが肝要と考えています。

そのうえで、必要に応じた勉強会（学芸員や地域ボランティアを講師に）を、提案しあうことも可能と考えています。

8 地域に根ざしたボランティアなどの様々な活動を展開するには、図書館の第一線で住民をはじめ関係機関との密接な連携を図ることが重要だと思われ、短期間の契約ではこのようなことを実現することは困難だと思われること。

〔回答〕

「地域ボランティアとの連携」についても、募集要項・業務仕様書で明示すべき事項と考えています。

1・2、4への回答と重なりますが、現在の連携内容・水準を明示したうえで、ボランティアの方々・指定管理者・市が良好な関係を築けるよう、十分な準備期間を設定したいと考えています。

9 平成30年2月8日の図書館協議会の「その他資料」（館山市HP参照）に、「一部業務委託すべきではない業務」として、「図書館の根幹に関わる業務」「専門性の高い業務」として、4項目16の業務が書かれているが、これら「業務委託すべきではない業務」を含めて指定管理者に委託するのは矛盾していると思われること。

〔回答〕

平成30年2月8日にお示しした資料については、一部業務委託を想定した内容であり、指定管理者制度は、基本的に公の施設の管理を包括的に指定管理者に行わせることを想定していることから、一部業務委託の場合とは異なるものと考えています。

10 財政難から始まった図書館指定管理者導入だが、平成31年7月16日の図書館協議会で行革財政課より、「現在の図書館経費（職員報酬含む）と民間への委託料は同じ額なので、財政的効果は“0”だが、指定管理導入の本来の効果は、住民サービス向上と図書館職員5名が市の他の部署へ移動することにより、現状30名の職員が不足している館山市人事（職員不足）のための職員補充に効果がある。」という説明があったが、それから考えると「職員補充のための図書館指定者管理制度導入」の印象があり、そのために図書館へ指定管理者導入するのは理由として成り立たないと思われること。

〔回答〕

指定管理者制度の本来の目的は、民間事業者等が有するノウハウを活用することにより、住民サービスの向上を図り、公の施設の設置の目的を効果的に達成することにあります。職員の定員管理と指定管理業務とは切り離して考える問題であると考えています。

11 指定管理者と館山市行政や学校、その他さまざまな団体などとの連携をとるために、生涯学習課内に図書館担当を配置するということですが、館山市の考える図書館運営方針や子育て支援、生涯学習、学校教育や社会教育などに関わることをどのように伝え、指定管理者がどのように応えるのかわからず、館山市の図書館運営への関わり方が明確ではないと思われること。

〔回答〕

担当課の方針としては、生涯学習課内に図書館業務担当者を置き、指定管理者側との連携を図るとともに、担当課で所管する生涯学習ボランティア団体や、中央公民館、館山市立博物館とも連携しながら事業を行っていきたいと考えています。

12 今回の指定管理者制度導入は、図書館と菜の花ホール、中央公園を一体化して指定管理者に委託するという事で、相乗効果を狙った企画で利益をあげたいということだが、その具体的な方法や目的・効果が示されていないこと。

〔回答〕

6への回答と重なりますが、面的なスケールメリットを生かした提案を期待しているところであり、図書館ホールと中央公園を連動させたイベントや、菜の花ホールを活用した教育の場の提供などが想定されますが、具体的にどのような事業を行うかは、意欲ある指定管理者からの提案次第となります。

また、関係法令の許す範囲内で公共施設の使い方を広げ、より多くの市民に使っていただける施設とすることを目的としています。

最後に

今回の指定管理者制度導入案は、戦中だった昭和18年から76年の永きにわたり、館山市が市民のための図書館のあり方を模索しながら運営し続け、ボランティアをはじめとする大勢の市民の力を借りながら作り上げてきた館山市図書館を変革させようとする、ゆゆしき問題だと考えます。

館山市においては、市民の暮らしに関わる重大な事案だということを認識していただき、急がず十分な時間をかけて、図書館を利用する多くの市民の意見をできる限りくみあげて慎重に協議し、市民にも館山市にも最善の方向を探して示していただくことを望みます。